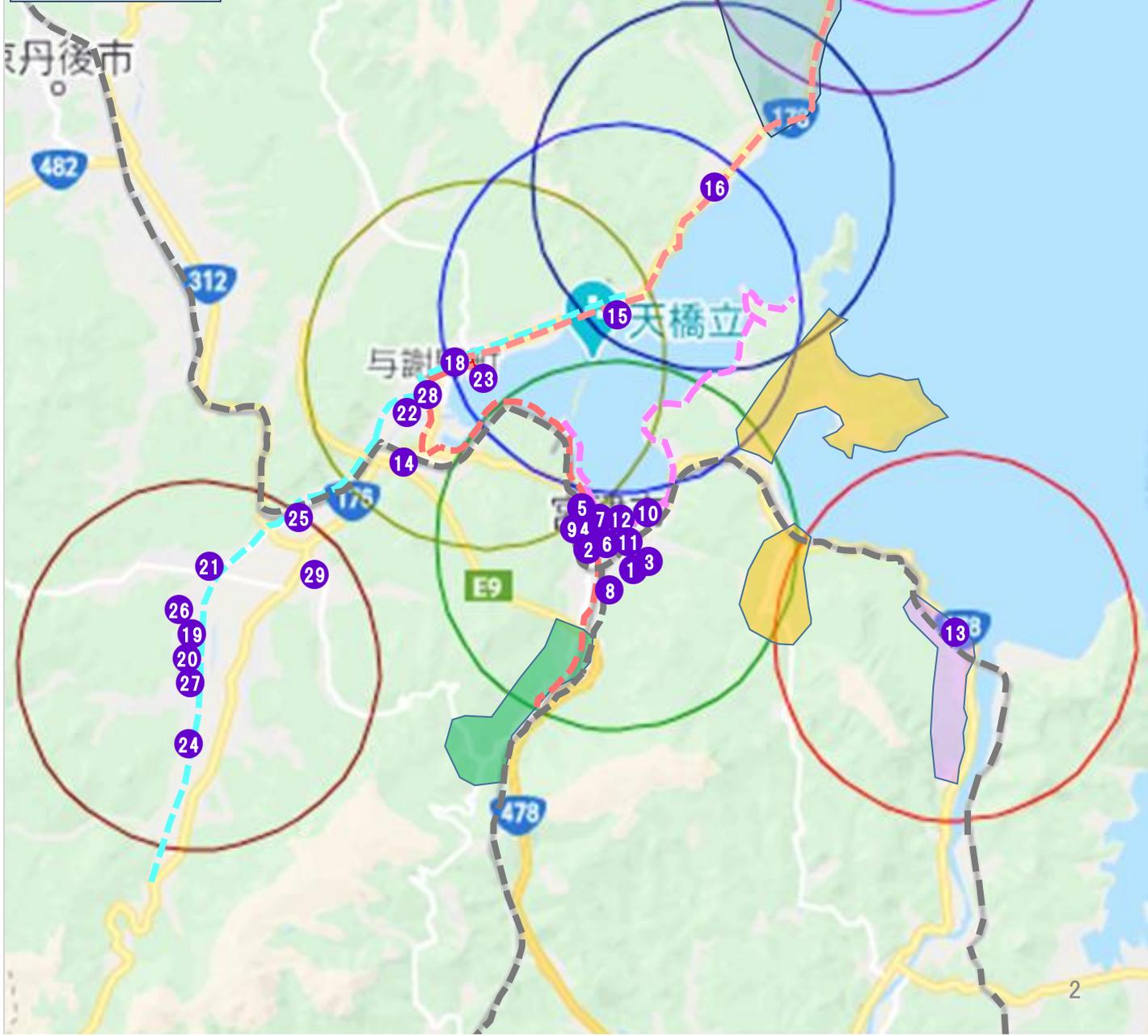


■宮津市内の医療機関 (歯科を除く)(2020年)



医療機関へのアクセスの状況

- 交通機関**
- 京都丹後鉄道線
 - - 伊根線・蒲入線
・経ヶ岬線
 - - 与謝線
 - - 田井線
- 養老・日ヶ谷地区
公共交通空白地有償運送
(ドアtoドアデマンド型)
- 上宮津地区
公共交通空白地有償運送
(区域運行デマンド型)
- 由良地区
公共交通空白地有償運送
(区域運行デマンド型)
- 栗田地区200円タクシー



No.	施設名	代表医師名	診療科目	※
宮津市				
1	味見診療所	味見 真弓	内科・心療内科	往・訪・在
2	今出クリニック	今出 陽一朗	内科・泌尿器科・皮膚科	往・訪・在
3	岡所・泌尿器科医院	岡所 明良	泌尿器科・内科	往・透
4	佐藤医院	佐藤 昌平	産婦人科	
5	中川医院	中川 長雄	消化器科・胃腸科・肛門科・外科	往
6	中川内科・小児科クリニック	中川 嘉洋	内科・小児科	
7	中村眼科医院	中村 雅也	眼科	
8	浪江医院	浪江 和生	整形外科・皮膚科	往
9	西原医院	西原 寛	外科・胃腸科・肛門科・内科・整形外科	往・訪・在
10	宮地医院	宮地 高弘	整形外科・内科	往・訪・在
11	山根医院	山根 行雄	内科・消化器科	往・訪・在
12	宮津武田病院	曾根 淳史	内科・消化器内科・循環器内科・外科・整形外科・消化器外科・泌尿器科	透
13	宮津市由良診療所	堀川 義治	内科・外科・脳外科	往・訪
14	宮津市休日応急診療所	当番医師	内科・小児科	
15	府中診療所	石井 靖隆	内科・小児科・アレルギー科	往・訪・在
16	日置診療所	石井 靖隆	内科・小児科・アレルギー科	往・訪・在
17	養老診療所	上川 浩美	内科・小児科	往・訪
与謝野町				
18	いとうクリニック	伊藤 剛	内科・外科・緩和ケア科	往・訪・在
19	伊藤内科医院	伊藤 邦彦	内科・循環器科・小児科	往・訪
20	岩破医院	岩破 康二	内科・小児科・アレルギー科・外科・産婦人科・麻酔科	往・訪
21	いわさく診療所	岩破 淳郎	内科・消化器科・小児科・理学療法科・眼科・整形外科	往・訪・在
22	大森内科診療所	大森 斎	内科・循環器科・呼吸器科	
23	京都府立医科大学附属 北部医療センター【与謝の海病院】	中川 正法	内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・呼吸器内科・神経内科・精神科・小児科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・眼科・産婦人科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・皮膚科・救急科・病理診断科	透
24	木村内科クリニック	木村 進	内科・小児科・消化器内科・心療内科・リハビリテーション科	往・訪・在
25	南斗六星会 須川医院	須川 典亮	脳神経外科・神経内科・内科・小児科・外科	
26	鳥居クリニック	鳥居 剛	内科・外科・皮膚科・麻酔科	
27	日置医院	日置 潤也	内科・循環器科・小児科	往・訪
28	やまぞえこどもクリニック	山添 一郎	小児科	
29	与謝野町立国民健康保険診療所	矢野 裕太郎	内科・外科・リハビリテーション科	
伊根町				
30	伊根町国民健康保険伊根診療所	石野 秀岳	内科・外科・整形外科・小児科・眼科・神経内科	往・訪
31	伊根町国民健康保険本庄診療所	宮地 道弘	内科・外科・整形外科・神経内科	往・訪

※往：往診 訪：訪問診療（計画的に訪問して診療） 在：在宅療養支援診療所

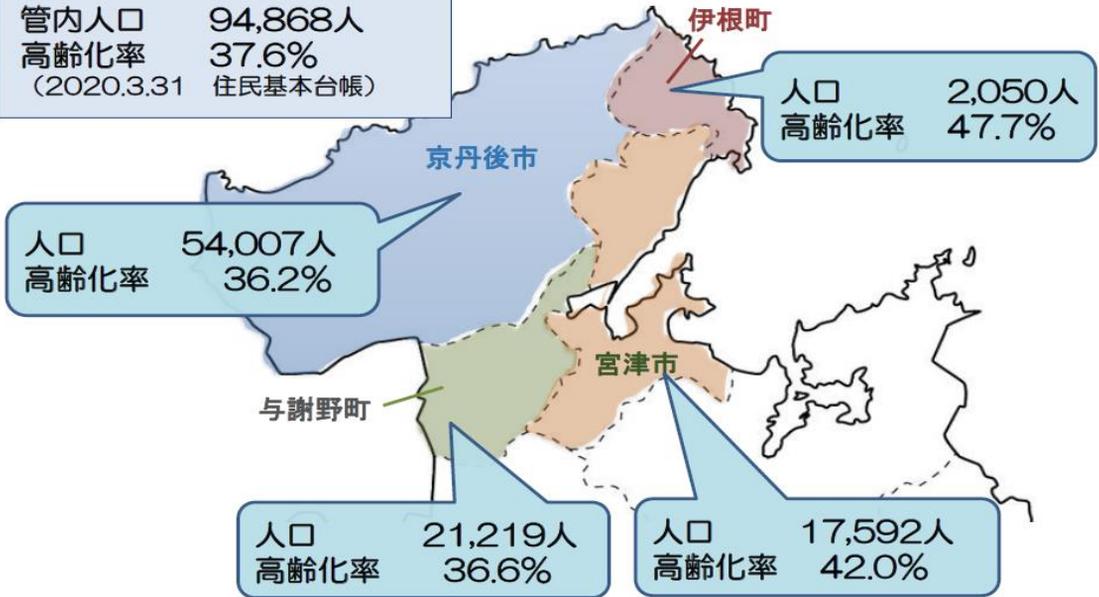
■ 公的診療所の状況

施設名	由良診療所	府中診療所	日置診療所
医師	堀川 義治	石井 靖隆	石井 靖隆
運営形態	市営（指定管理）	民営	民営
診療日時	月～土 （木・土：午前のみ） 日・祝 休診	月～金 午前 土・日・祝 休診	火・木 午後 （15：00～17：00） 月・水・金・土・日・祝 休診
建設年	H20	S48	S44
開業年度	H20	H10～：市立診療所 H18～：民営化	H10～：市立診療所 H18～：民営化

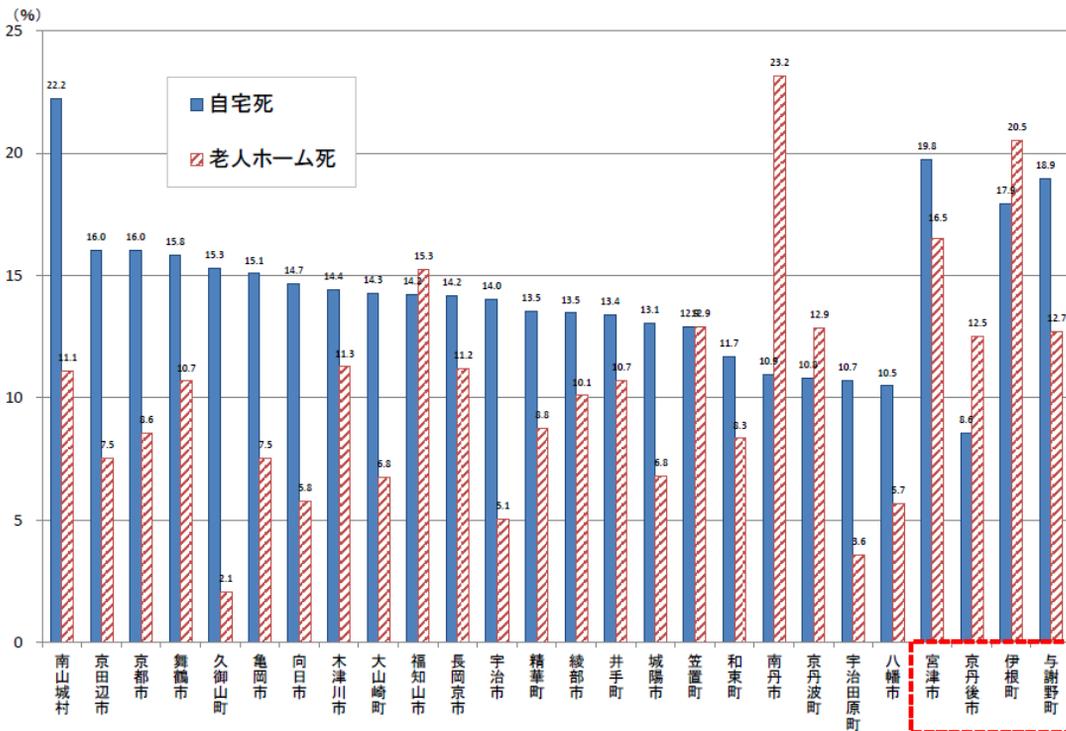
施設名	養老診療所	養老歯科診療所
医師	上川 浩美	宇治川 賢二
運営形態	民営	民営
診療日時	火～金 午前 火～金 午後、月、土・日・ 祝 休診	月（午後のみ） 木・土（午前のみ） 火・水・金・日・祝 休診
建設年	S55	S55
開業年度	S55～S56：芝 豊 S57～R2：林 信昌 R3～：上川 浩美	S55～：宇治川仁一朗 H8～：宇治川美枝子 H20～：宇治川賢二

管内の看取りの状況 (H30年京都府保健福祉統計)

管内人口 94,868人
 高齢化率 37.6%
 (2020.3.31 住民基本台帳)



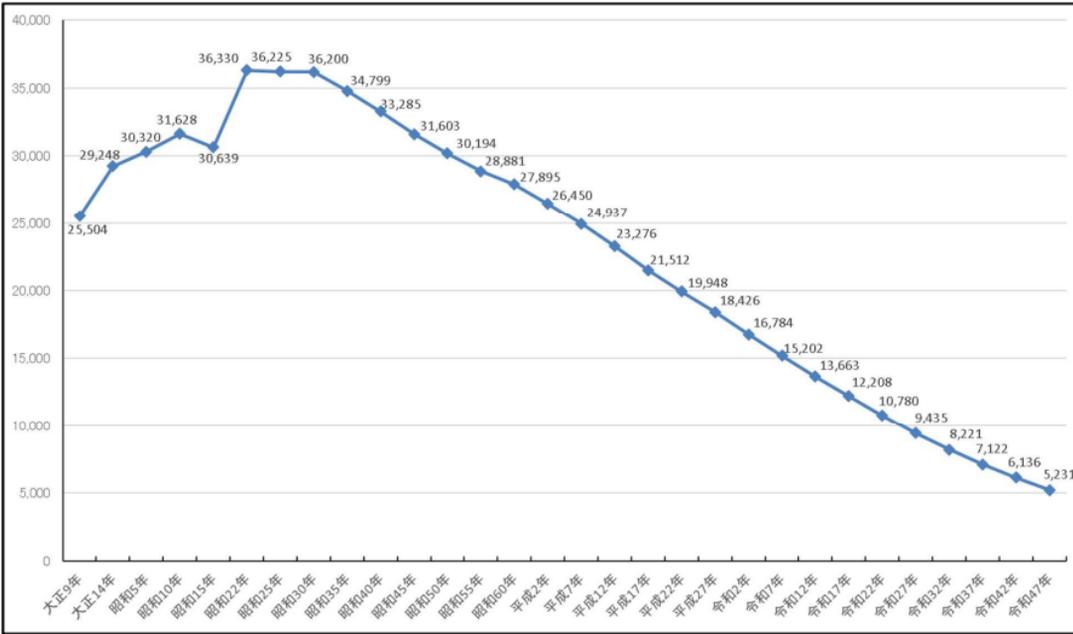
H30年の自宅死の割合・老人ホーム死の割合の京都府内市町の状況



人口動態調査(厚生労働省)

■宮津市における総人口推移

※第7次宮津市総合計画参照



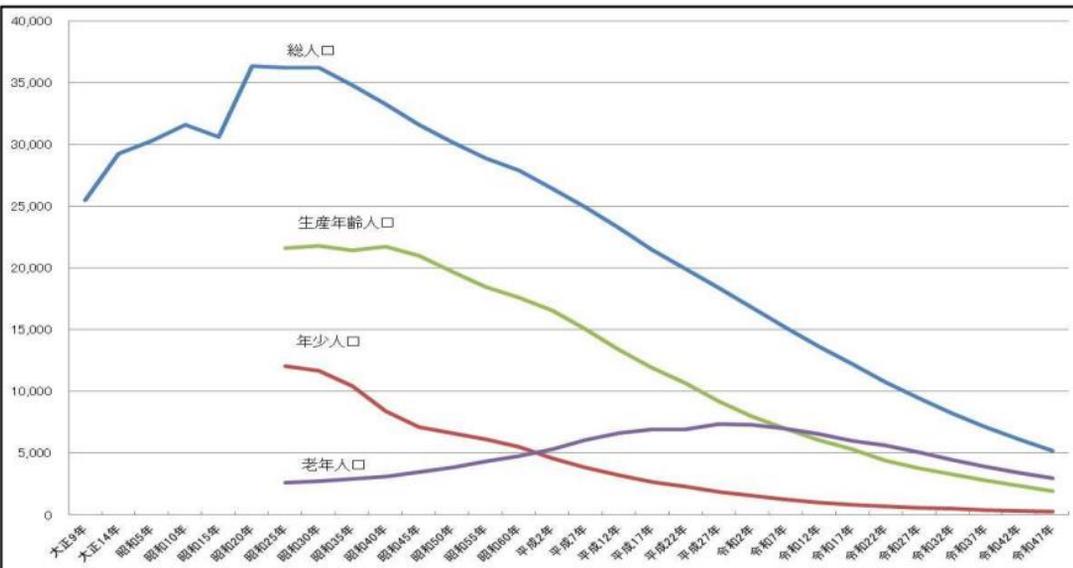
資料：国勢調査、2020年以降の推計は社人研

【令和2年度国勢調査確定数(宮津市)】

総人口 (人)	高齢化率 (65歳～)
16,758	43.3%

■老年人口の推移

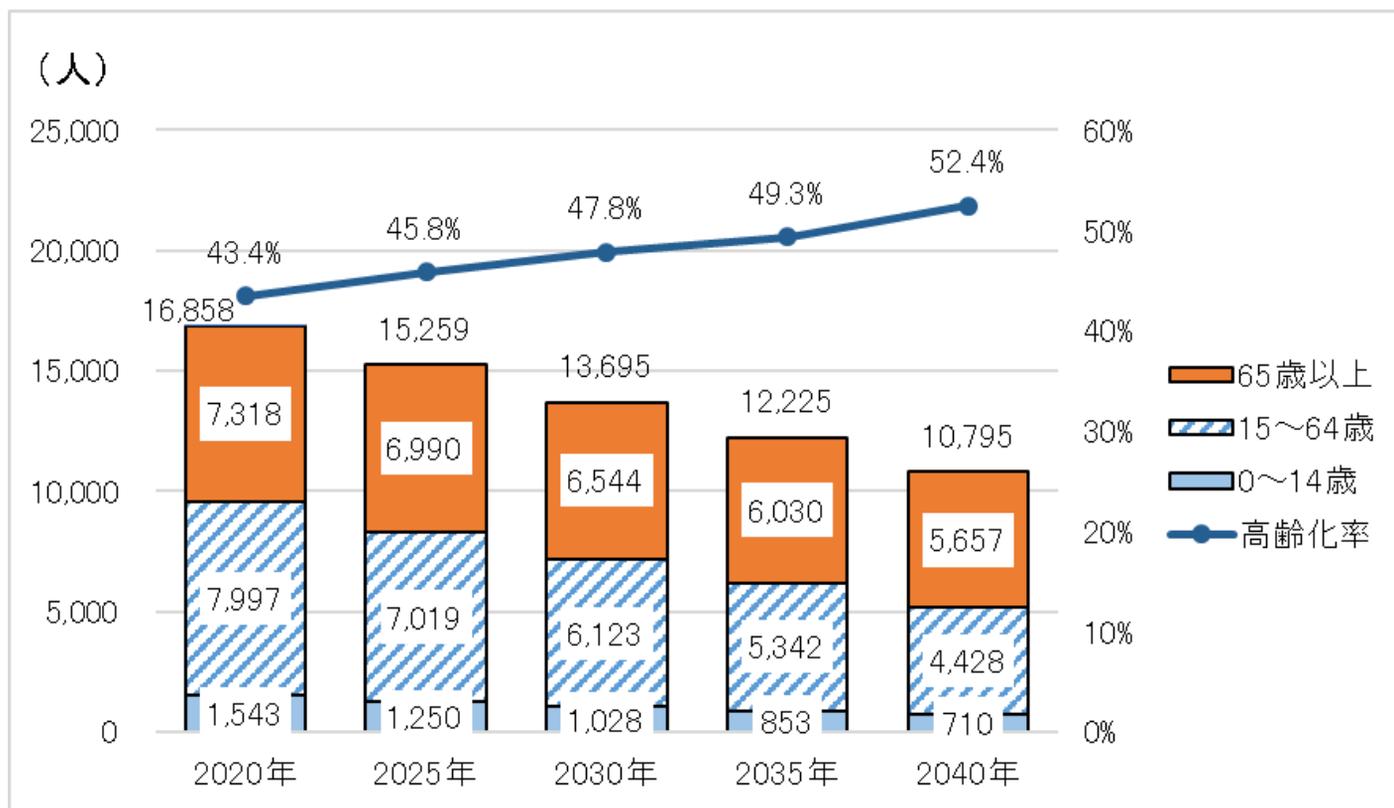
※第7次宮津市総合計画参照



資料：国勢調査、2020年以降の推計は社人研

(3) 宮津市の地域医療の現状について

■ 宮津市の人口推移



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口	16,858	15,259	13,695	12,225	10,795
うち高齢者	7,318	6,990	6,544	6,030	5,657
高齢化率	43.4%	45.8%	47.8%	49.3%	52.4%

※国立社会保障・人口問題研究所推計を参照

■地域別の人口推移

2020年				2030年				2040年			
	総人口	うち高齢者	高齢化率		総人口	うち高齢者	高齢化率		総人口	うち高齢者	高齢化率
由良	943	501	53.1%		766				533	329	61.7%
栗田	1,787	807	45.2%		1,452				1,133	594	52.4%
上宮津	1,010	512	50.7%		820				611	371	60.7%
宮津	8,472	3,337	39.4%		6,882				5,694	2,799	49.2%
吉津	1,460	585	40.1%		1,186				965	474	49.1%
府中	1,542	700	45.4%		1,253				959	514	53.6%
日置	625	330	52.8%		508				347	211	60.8%
世屋	89	52	58.4%		72				44	28	63.6%
養老	784	404	51.5%		637				439	283	64.5%
日ヶ谷	146	90	61.6%		119				70	54	77.1%
計	16,858	7,318	43.4%		13,695				10,795	5,657	52.4%

※国立社会保障・人口問題研究所推計を参照

※2030年の地区別人口は、全体人口（13,695人）に2020年の地区別人口割合を乗じた推計値である。

事 項	医療従事者の確保、定着、資質の向上	丹後地域
現 状 と 題	<p>○丹後圏域の医療従事者は、平成22年と比較すると若干増加しているものの、医師は府の平均と比べれば依然として少ない状況にある。</p> <p>○丹後圏域の医療従者数(対10万人、各年12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師数 H26： 165.0人(府 328.4人)、H22： 152.6人(府 286.2人) ・歯科医師数 H26： 47.3人(府 73.1人)、H22： 44.8人(府 68.3人) ・看護師数・准看護師数 H26： 1,125.3人(府 1174.6人)、H22： 1,047.2人(府 1,090.7人) ・薬剤師数 H26： 104.2人(府 219.5人)、H22： 102.1人(府 222.8人) ・理学療法士数(各年10月末) H26： 58.2人(府 56.6人)、H22： 41.0人(府 40.2人) ・作業療法士数(各年10月末) H26： 24.2人(府 27.3人)、H22： 23.0人(府 22.7人) ・言語聴覚士(各年10月末) H26： 9.1人(府 9.4人)、H22： 7.6人(府 6.3人) <p>○丹後圏域では、専門医、指導医が不足しており、疾患例が少なくスキルアップが課題</p> <p>○在宅医療を担う医師、かかりつけ医の高齢化が課題</p>	
対 策 の 向	<p>●医療従事者の確保、定着、資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府地域医療支援センター、京都府医療勤務環境改善支援センターとの連携強化 ・北部地域医療人材育成センターの取組の推進(研究・研修支援、キャリア形成の支援等) ・京都府北部看護職支援センター、看護職キャリアパス支援センターの取組の推進(復職のための研修や相談等) ・京都府、各市町による医師確保対策、定着事業の推進(奨学金の貸与等) ・病院独自の地域医療研修の推進 ・訪問看護師人材確保事業の推進(OJT研修、教育、相談) 	

※京都府保険医療計画「地域における主な課題と対策」を参照

■管内医師の年令別構成について

【与謝医師会の会員年齢階級別医師数】

	宮津班	与謝野班	与謝の海病院班
40歳以下	0	0	5
41歳～45歳	0	0	1
46歳～50歳	1	0	0
51歳～55歳	2	2	0
56歳～60歳	2	1	5
61歳～65歳	6	5	0
66歳～70歳	6	2	1
71歳以上	6	5	0
合計	23	15	12
高齢化率	52%	47%	8%

※与謝医師会2021年度総会資料より(令和3年度3月31日現在)参照

市町村別特定健診結果の標準化当該比ヒートマップ

男性	京都市	向日市	長岡京市	大山崎町	宇治市	城陽市	八幡市	京田辺市	久御山町	井手町	宇治田原町	木津川市	笠置町	和束町	精華町	南山城村	亀岡市	南丹市	京丹波町	福知山市	舞鶴市	綾部市	京津市	京丹後市	伊根町	与謝野町
血圧リスク	0.99	0.91	0.93	0.93	1.04	1.06	1.08	0.92	1.07	1.18	0.90	0.99	0.97	1.02	0.88	1.04	1.02	1.04	1.02	1.00	1.06	1.06	1.03	1.07	0.95	0.99
血糖リスク	0.97	0.94	0.93	1.00	0.97	0.95	1.04	1.08	1.08	1.17	1.10	1.09	0.93	1.16	0.95	1.11	0.98	1.18	1.18	1.06	1.03	1.12	1.09	1.16	1.04	1.18
脂質リスク	1.02	0.98	0.95	1.01	1.00	0.98	1.08	0.96	1.10	1.14	1.18	0.95	0.88	1.03	0.88	0.89	0.99	0.85	0.91	1.01	1.08	0.93	1.01	0.90	0.71	0.94
メタボ該当	0.99	1.01	0.98	1.05	1.04	1.04	1.12	1.03	1.14	1.23	0.99	1.04	1.08	1.08	0.90	1.12	0.99	0.90	0.97	1.01	1.07	0.88	0.95	0.89	0.76	0.96
現在喫煙	0.99	0.99	0.92	0.98	0.96	0.93	1.06	0.90	1.11	1.16	0.99	0.92	1.26	1.11	0.90	0.83	1.06	1.12	1.15	1.07	1.10	0.99	1.06	1.08	1.18	1.08
* 体重増加	1.00	0.98	1.00	1.02	-	-	1.08	1.04	-	1.02	0.98	1.06	1.02	1.04	1.08	1.02	1.01	0.98	0.93	1.01	1.02	0.92	1.01	0.98	0.91	0.97
* 運動なし	0.99	0.99	0.93	0.93	-	-	0.95	0.95	-	1.00	1.02	0.91	1.12	1.08	0.91	1.03	1.00	1.09	1.10	1.06	1.02	1.04	1.04	1.09	1.18	1.07
* 歩行なし	0.99	0.99	0.95	0.98	-	-	0.98	0.99	-	1.00	1.02	0.95	1.04	0.90	0.91	0.97	1.02	1.00	1.03	1.06	1.02	1.02	1.02	1.06	1.09	1.02
* 就寝前食事	1.04	1.01	0.99	1.04	-	-	1.00	0.94	-	0.99	0.95	0.87	0.81	0.73	0.97	0.72	1.04	0.97	0.98	0.91	0.88	0.87	0.84	0.83	0.83	0.90
* 夕食後間食	1.02	0.95	0.96	0.99	-	-	0.95	0.95	-	0.92	0.94	0.97	1.22	0.94	1.06	1.00	0.98	1.06	0.97	0.96	1.01	0.92	0.97	0.91	0.77	0.96
* 朝食欠食	1.05	0.88	0.83	0.92	-	-	1.06	0.82	-	0.86	0.81	0.79	1.15	0.69	0.80	0.72	0.90	0.89	0.82	0.96	1.00	0.97	1.04	1.02	1.08	1.00
毎日飲酒	0.98	0.99	0.98	1.00	0.97	0.99	0.96	0.98	0.98	1.07	1.05	0.99	1.17	1.12	0.98	1.04	1.00	1.07	1.11	1.08	1.06	1.10	1.08	1.10	1.16	1.10

女性	京都市	向日市	長岡京市	大山崎町	宇治市	城陽市	八幡市	京田辺市	久御山町	井手町	宇治田原町	木津川市	笠置町	和束町	精華町	南山城村	亀岡市	南丹市	京丹波町	福知山市	舞鶴市	綾部市	京津市	京丹後市	伊根町	与謝野町
血圧リスク	0.94	0.95	0.95	0.94	1.08	1.18	1.08	0.96	1.15	1.25	0.95	1.02	0.92	1.10	0.84	1.19	1.07	1.07	1.03	1.19	1.08	1.08	0.98	1.04	0.95	1.00
血糖リスク	0.93	0.91	0.93	0.88	0.99	0.97	0.93	1.10	1.25	1.18	1.29	1.04	1.04	1.22	0.90	1.07	0.91	1.51	1.50	1.18	1.00	1.25	1.28	1.37	1.21	1.34
脂質リスク	1.04	1.01	0.85	0.95	1.01	0.98	0.98	1.00	1.12	1.41	1.30	0.81	0.96	1.03	0.79	0.85	1.00	0.85	0.85	1.12	1.10	0.86	0.94	0.83	0.72	0.92
メタボ該当	0.91	1.17	1.05	1.20	1.06	1.27	1.14	1.14	1.31	1.39	1.27	0.97	1.74	1.34	0.76	1.07	1.18	0.98	1.08	1.07	1.10	0.79	0.93	0.86	0.73	0.97
現在喫煙	1.11	1.00	0.81	0.94	0.96	0.86	1.10	0.79	1.25	1.77	0.95	0.88	0.49	0.84	0.62	0.40	1.00	0.87	0.84	0.99	0.97	0.80	0.74	0.58	1.06	0.63
* 体重増加	0.97	1.03	1.00	1.09	-	-	1.12	1.03	-	1.30	1.08	1.05	1.40	1.19	0.95	1.06	1.08	1.09	1.02	1.04	1.05	0.92	0.99	1.00	1.00	0.97
* 運動なし	0.99	0.98	0.95	0.97	-	-	0.90	0.92	-	1.07	1.01	0.95	1.09	1.09	0.94	0.97	1.02	1.11	1.04	1.08	1.01	1.04	1.03	1.10	1.09	1.11
* 歩行なし	0.98	0.99	0.97	0.94	-	-	0.98	0.98	-	1.00	1.03	0.99	1.06	0.99	0.96	0.94	1.04	1.08	1.08	1.07	1.01	1.06	1.02	1.09	1.07	1.07
* 就寝前食事	1.07	0.91	0.85	0.92	-	-	0.91	0.82	-	0.92	0.90	0.76	0.83	0.91	0.85	0.94	1.01	0.97	1.00	0.93	0.87	0.85	0.87	0.95	0.59	0.86
* 夕食後間食	1.04	0.91	0.89	0.96	-	-	0.91	0.90	-	1.02	0.98	0.96	0.80	1.02	0.86	0.95	1.01	1.01	1.01	1.00	0.93	1.06	0.91	0.90	0.91	0.94
* 朝食欠食	1.10	0.82	0.84	0.78	-	-	0.94	0.83	-	1.07	0.88	0.74	0.33	0.76	0.67	0.52	0.88	0.84	0.84	0.87	1.01	0.79	0.90	0.86	0.60	0.94
毎日飲酒	1.18	1.07	1.00	1.03	0.92	0.89	0.99	0.90	0.87	0.94	0.89	0.84	0.68	0.62	0.77	0.60	0.83	0.77	0.72	0.89	0.91	0.80	0.75	0.74	0.66	0.64

(平成27・28・29年度 市町村国保及び協会けんぽ 特定健診結果集計データによる)

・本資料は95%信頼区間(区間推定)が記載されていないため、単独で活用すると、解釈を誤る恐れがある。本資料を活用する際には、必ず、各市町村の標準化当該比のグラフ・表も合わせて解釈を行うこと。

・* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。

・標準化当該比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化当該比]倍」と解釈する。すなわち、標準化当該比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。

・「標準化当該比が1より大きく、かつP値が0.05より小さい」(=京都府よりもリスク該当割合が統計的に有意に高い)の条件を満たすセルを赤背景・白文字で強調した。また、市町村名を保健所管区ごとに色分けして表記した。

●国保・後期高齢者 医療費(費用額)の推移

(単位:円、人)

	H22	H25	H28	R01	10年合計
医療費 (国保)	2,055,204,100	2,101,415,562	2,086,513,243	1,827,067,305	20,293,173,342
前年度比	31,194,893 101.5%	108,359,400 105.4%	△ 23,985,701 98.9%	△ 151,711,566 92.3%	
医療費 (後期)	3,422,726,625	3,553,286,746	3,802,740,305	3,894,480,731	36,739,726,967
前年度比	157,061,993 104.8%	△ 100,834,797 97.2%	223,098 100.0%	103,939,470 102.7%	
被保険者 (国保)	6,617	6,021	5,385	4,745	56,917
前年度比	△ 179 97.4%	△ 182 97.1%	△ 267 95.3%	△ 177 96.4%	
被保険者 (後期)	4,149	4,208	4,226	4,194	41,858
前年度比	35 100.9%	11 100.3%	38 100.9%	18 100.3%	
医療費計	5,477,930,725	5,654,702,308	5,889,253,548	5,721,548,036	57,032,900,309
前年度比	157,062,028 97.4%	7,524,603 100.1%	-23,762,603 99.6%	-47,772,096 99.2%	
被保険者 数計	10,766	10,229	9,611	8,939	98,775
前年度比	△ 179 97.4%	-171 98.4%	-229 97.7%	-159 98.3%	
一人当り 平均	508,818	552,811	612,762	640,066	577,402
前年度比	9,813 101.8%	11,846 102.0%	5,935 100.9%		

国保の疾病別医療費の状況

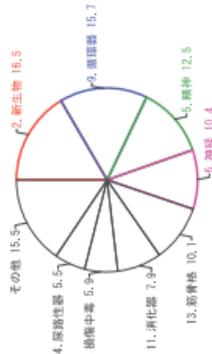
保険料番号 : 260067
 保険者名 : 京都市
 地区 :

作成年月 : 02年度(県計)
 印刷日 : 04年01月27日
 ページ : 1/1

保健指導対象者の拡大に際し、どの疾病をターゲットにするかの医療費分析例

- ・最大新規医療費病名を用いて計算
- ・大分類別医療費のうちの上位4位までを対象に中分類分析を行う
- ・疾病分類上位5位までを表示する

大分類別医療費 (%)



入院

入院医療費全体を100%として計算

細小分類分析 (%)

大分類	中分類別分析 (%)	細小分類分析 (%)
2. 新生物 16.5	その他の悪性新生物<腫瘍>	6.0
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3.2
	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1.8
	その他の心疾患	5.2
	脳内出血	3.8
9. 循環器 15.7	脳梗塞	1.9
	統合失調症、統合失調症型障害及び変型性障害	9.1
	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.8
	その他の精神及び行動の障害	0.6
	その他の神経系の疾患	4.2
5. 精神 12.5	てんかん	3.9
	脳性麻痺及びその他の痺麻痺性麻痺	1.5
	うつ病	2.8
	パーキンソン病	0.1
	糖尿病神経障害性疼痛	0.1
6. 神経 10.4	糖尿病	3.6
	心臓弁膜症	0.1
	脳出血	3.8
	脳梗塞	1.9
	統合失調症	8.9

入院+外来 (%)

1位	糖尿病	5.7
2位	統合失調症	4.5
3位	関節疾患	3.9
4位	痔がん	3.9
5位	不整脈	3.7
6位	慢性腎臓病(透析あり)	3.3
7位	高血圧症	3.2
8位	胆管炎	3.1
9位	うつ病	1.8
10位	骨折	1.7

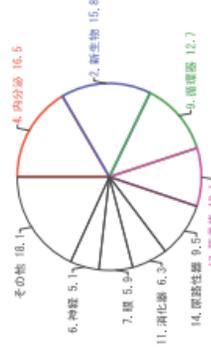
全体の医療費(入院+外来)を100%として計算

中分類別分析 (%)

大分類	中分類別分析 (%)	細小分類分析 (%)
4. 内分泌 16.5	糖尿病	10.2
	脂質異常症	4.9
	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	1.0
	その他の悪性新生物<腫瘍>	5.7
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4.2
2. 新生物 15.8	乳癌の悪性新生物<腫瘍>	2.3
	その他の心疾患	5.8
	高血圧性疾患	5.0
	虚血性心疾患	1.1
	炎症性多発性関節障害	3.0
9. 循環器 12.7	腎臓障害(腎臓症を含む)	1.9
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.5
	糖尿病	8.8
	糖尿病網膜症	1.4
	胆管炎	4.9
6. 神経 10.4	糖尿病・高尿酸血症	0.0
	前立腺がん	1.8
	食道がん	0.9
	腎臓がん	0.5
	乳がん	4.2
13. 筋骨格 10.1	不整脈	3.7
	心臓弁膜症	0.1
	高血圧症	5.0
	狭心症	0.7
	関節疾患	2.9
	糖尿病・高尿酸血症	0.1

外来

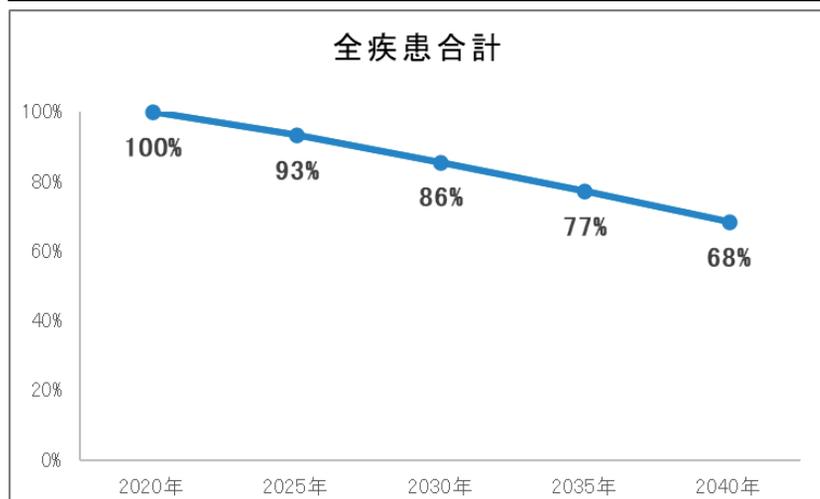
外来医療費全体を100%として計算



■疾患別患者推計(1日当たりの外来患者増減率)

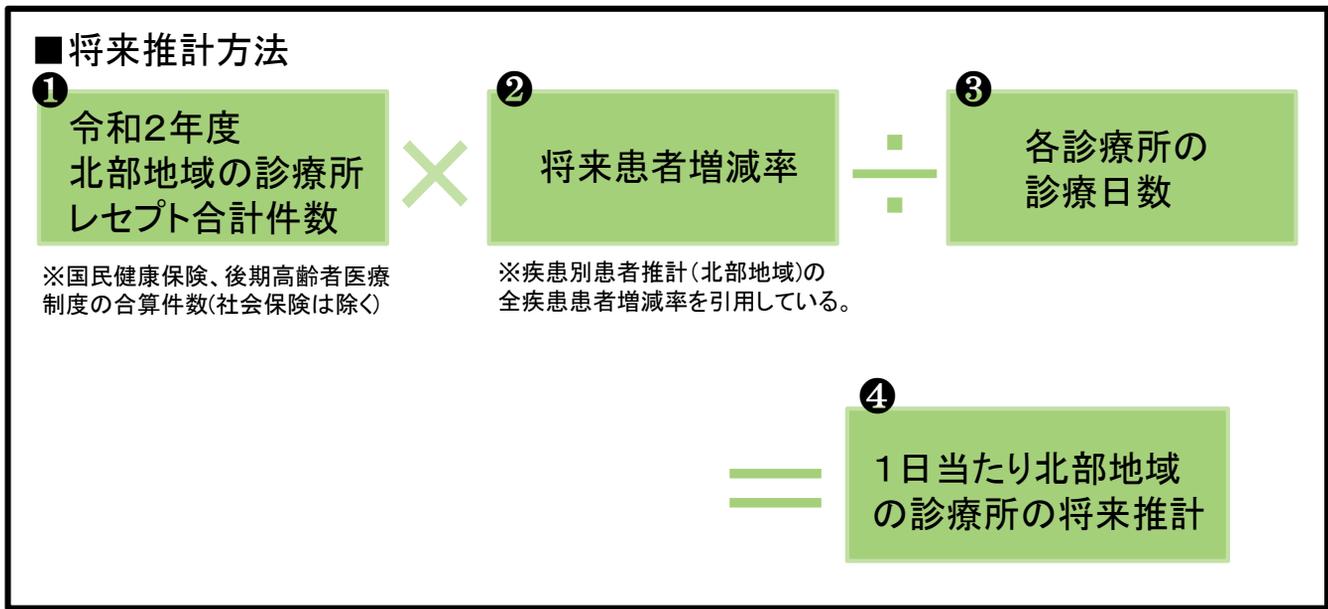
【宮津市全域】

傷病名	2020年からの増減率				
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
①感染症及び寄生虫症	100%	91%	81%	72%	63%
②新生物	100%	95%	87%	79%	71%
③血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	100%	91%	82%	74%	64%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	94%	86%	78%	70%
⑤精神及び行動の障害	100%	91%	81%	72%	62%
⑥神経系の疾患	100%	95%	90%	84%	76%
⑦眼及び付属器の疾患	100%	94%	87%	78%	70%
⑧耳及び乳様突起の疾患	100%	92%	84%	75%	66%
⑨循環器系の疾患	100%	96%	91%	84%	76%
⑩呼吸器系の疾患	100%	89%	78%	68%	59%
⑪消化器系の疾患	100%	92%	83%	74%	65%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	100%	90%	81%	71%	62%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	96%	89%	81%	72%
⑭腎尿路生殖器系の疾患	100%	94%	86%	78%	69%
⑮妊娠、分娩及び産じょく	100%	81%	66%	56%	48%
⑯周産期に発生した病態	100%	83%	68%	55%	46%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	100%	87%	75%	64%	55%
⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	100%	93%	85%	76%	68%
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	92%	83%	74%	65%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	100%	93%	84%	75%	67%
計	100%	93%	86%	77%	68%



推計方法 男女5歳階級別受療率(全国)×男女5歳階級別人口(各対象地域)
 受療率:厚生労働省「患者調査(平成29年度)」のデータを基に算出
 人口推計:住民基本台帳(2015年、2020年)及び人口問題研究所将来推計参照

■ 北部地域の診療所における想定1日当たり患者数及び将来推計 ～ 国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者～



① 北部地域の診療所レセプト件数

	令和2年度
北部地域の診療所	10,393

② 北部地域における全疾患患者増減率

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
計	100%	91%	83%	76%	68%

③ 各診療所診療日

	府中診療所	日置診療所	養老診療所
診療日	週5日 (月～金曜日)	週2日 (火曜日、木曜日)	週4日 (火～金曜日)



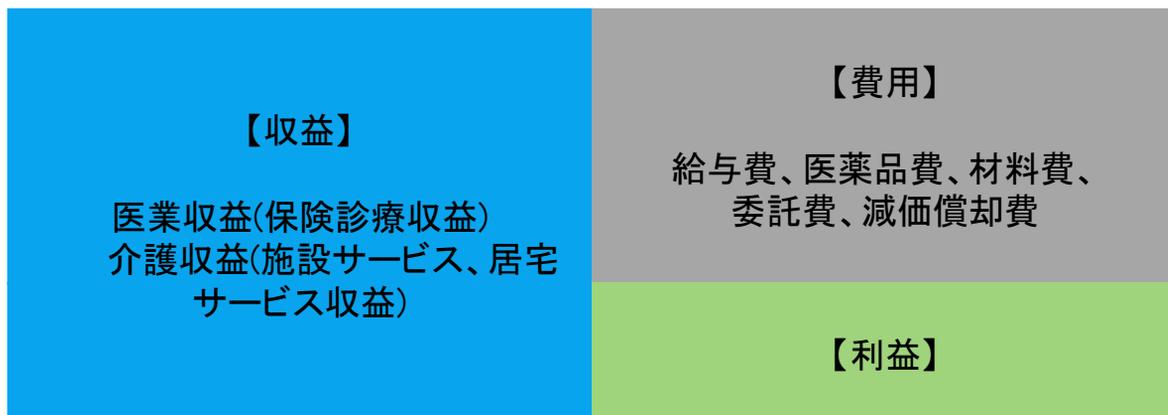
④ 北部地域の診療所における想定1日当たり患者数及び将来推計

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
北部地域の診療所	56人	51人	46人	43人	38人

■無床診療所における収支モデル

前提条件： 内科診療所(無床)における一般的な収支モデルを基に損益分岐点を算出。

■一般的な収支内訳項目



※今回のモデルでは医療機器リース代は市が負担している事から減価償却費は見込まない。

※無床診療所は、入院診療収益のない診療所とする。

■収支モデルに基づく損益分岐点(診療日数5日想定)

